



令和7年度 磐梯幼稚園・保育所運営ビジョン

【目指す幼稚園・保育所の姿】

子どもたち一人一人が主体的に遊び学べる園所
子どもたち一人一人が心身ともに満たされたウェルビーイングに向かっている園所
子どもと大人で対話をしながら作り上げられている園所

【目指す保育者の姿】

日々の活動の中で「じぶんでえらぶ」「じぶんをつたえる」「だれかにつくる」を目指して
子どもと対話しながら、悩み、学び、共に成長していく保育者

【家庭との連携】

気持ちよく挨拶をし合い、子どもたちを真ん中において共に育ちあう
生活リズム（早寝早起き朝ごはん）が作れるようサポートし合う
自己選択決定・自己表現・協働することを大切にできるように学び合う

【磐梯幼稚園・保育所が大切にすること】

じぶんでえらぶ

自ら選び取る力を育み、
主体的に活動する子ども

じぶんをつたえる

自分の思いや考えを
表現できる子ども

だれかにつくる

他者と協力し、共に創造する
喜びを体験できる子ども

【重点として取り組むこと】

遊びの充実をします

戸外で遊ぶ機会や室内で遊ぶ機会には、たくさん体を動かしたりいろいろな運動遊びに取り組んだりします。

遊びを選んだり、それぞれの興味や得意なことを反映させたりして過ごします。

集団遊びの中でも協力して目標を達成する楽しさを味わいます。

表現活動の充実をします

音に触れ、リズムやダンスを楽しんだりすることや
いろいろな素材に出会い描いたり作ったりする表現
に取り組みます。

子どもたちが自分たちで表現を考えたり共同制作の
中で話し合ったりしながら過ごします。

自分の感情を表現したり友達の気持ちを聞き取った
りすることで、表現することの楽しさを培います。

自然体験の充実をします

自然（水・砂・土・雪など）の観察や体験を通
じて虫や植物を観察したり触れたりそれらにつ
いて話し合ったりする機会をつくります。

見たい場所や探求したいことに興味を持って調
べたり体験したことを絵や言葉で表現したりす
ることで環境への関心を高めます。

一人一人の多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を
育むため幼保小架け橋プログラムや地域連携を通した
多様な人たちとの関わりを土台として園・所運営を行っていく